

神石協働支援センターだより



2025年4月号
発行：神石協働支援センター
〒729-3511
神石郡神石高原町高光2117番地10
TEL・FAX 0847-87-0331
E-mail: j-kyoudou@sky.kagayakinete.ne.jp
ホームページ: https://jinseki-kyodo.com

3/9 JINSEKI 雪どけマラソン ×

神石のひと

優勝は昨年に続き、神石のスタープリンター小塩健太君。スタート前に「今日はタイムより順位にこだわりたい」と宣言し、有言実行、ぶっちぎりの優勝でした。あまりの速さに、ゴールに待機していないスタッフも慌ててゴールへ走りしました。

今月の『神石のひと』は選手達の清々しいゴールをご紹介します。



毎年3月の第二日曜日は神石に春の訪れを告げるJINSEKI雪どけマラソン。今年もたくさんのランナーが参加しました。大会の数日前には寒波が襲来しましたが、当日は抜けるような晴天のマラソン日和でした。雪どけマラソンは年齢、性別、一切関係なしのガチンコレースで、4歳から60歳の選手38人が一斉にスタートしました。



もう1周いけそうなくらい余裕ですね。



ゴール前のデッドヒート!!!



優勝おめでとう。いつかみんなを箱根に連れて行って!!



本当にいい天気だったんです。



寒波を吹き飛ばしてくれたのは、こちらの高気圧ガール。晴ちゃんのおかげです ☺

ゴールテープに引っかかると危ないので、くぐってゴールする慎重派。



間違いなく今年のビッグスマイル賞 ☺

雪どけマラソンの締めといえば、神石帝釈峡ライオンズクラブのうどんと、神石後継者の会のおでんです。選手、ギャラリ、スタッフみんなに振る舞われます。

マラソンと応援で疲れているから？ 早朝から準備で走り回っておなかのすいているから？ 2品とも男の料理とあなどるなかれ、とにかくおいしいんです。

隠し味でもあるんかと覗いてみても、特別変わった様子もなく、ワイワイ、ガヤガヤ楽しそうに調理をされるだけ。

後継者の会のおでんは「おでんの素だけじゃないで〜」と言う事までは聞き出せましたが、ライオンズクラブのうどんに関しては全くの謎。

雪どけマラソンの締め、食事が始まれば、みんな箸が止まらずおかわり続出で、うどん120杯、大きな鍋3個分のおでんがあつという間に空っぽになりました。

JINSEKI雪どけマラソンの縁の下力持ち、神石帝釈峡ライオンズクラブと神石後継者の会みなさん、ごちそうさまでした。



マラソンで疲れた体にうどんとおでんがしみる〜。

雪どけマラソン お品書き

神石帝釈峡
ライオンズクラブ
ちまたでうまいと評判の
ライオンズ 特製うどん

神石後継者の会
子ども達の胃袋をほろめ
ウィンナー入り おでん



A group of six small brown and white sparrows are perched on a green metal fence that is heavily covered in snow. The background is a soft, out-of-focus white, suggesting a snowy day with falling snowflakes visible in the air. The fence has a chain-link pattern, and the snow is piled up on its top rail.